

2023年度 夏休み向けコンクールの案内

【お知らせとお願い】

- ・学校から応募するコンクールについては、学校全体で取りまとめて応募します。
- ・作品返却の有無に関わらず、応募する前に作品を写真におさめておくことをおすすめします。





【学校から応募】

| | |
|---------|---|
| NO | 1 |
| コンクール名 | 第69回 青少年読書感想文全国コンクール |
| 主催 | 公益社団法人 全国学校図書館協議会 |
| テーマや内容 | <p>◎課題読書……主催者の指定した図書（課題図書）。</p> <p>※本サイト「課題図書」コーナーでご確認ください。同一部内における学年指定はありません。</p> <p>◎自由読書……自由に選んだ図書。フィクション、ノンフィクションを問いません。</p> <p>※教科書、副読本、読書会用テキスト類またはこれに準ずるもの、雑誌（別冊付録を含む）、パンフレット類、日本語以外で書かれた図書および課題図書は対象としません。ただし、課題図書であっても該当の部以外であれば、自由読書として応募することができます。</p> |
| 応募のきまり | <p>https://www.dokusyokansoubun.jp/index.html</p> <p>詳細は、HPで確認して下さい。</p> <p>◇応募者の在籍する校種等によって、応募を次の5部10区分とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小学校低学年の部（1、2年生）／課題読書・自由読書 ●小学校中学年の部（3、4年生）／課題読書・自由読書 ●小学校高学年の部（5、6年生）／課題読書・自由読書 ●中学校の部／課題読書・自由読書 <p>◇原稿用紙を使用し、縦書きで自筆してください。原稿用紙の大きさ、字詰めに規定はありません。</p> <p>◇文字数については下記のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校低学年の部（1、2年生）本文 800字以内 ・小学校中学年の部（3、4年生）本文 1,200字以内 ・小学校高学年の部（5、6年生）本文 1,200字以内 ・中学校の部 本文 2,000字以内 <p>◇句読点はそれぞれ1字に数えます。改行のための空白か所は字数として数えます。</p> <p>◇題名、学校名、氏名は字数に数えません。</p> <p>読書感想文は何のために書くの？（HPより引用）</p> <p>書くことによって考えを深められるからです。読書感想文を書くことを通して思考の世界へ導かれ、著者が言いたかったことに思いをめぐらせたり、わからなかったことを解決したりできるのです。ですから読書感想文は「考える読書」ともいわれます。また、どんなに強く心を動かされても、時がたてばその記憶は薄れてしまいます。読書感想文は自分自身の記録です。読み返すことによって、いつでも「感動した自分」に出会うことができるのです。</p> |
| 作品返却の有無 | なし |
| 校内締め切り | 9月1日（金） 学校応募数限定のため校内審査あり |

| | |
|---------|---|
| No | 2 |
| コンクール名 | 「いのち」の作文コンクール |
| 主催 | JR 西日本あんしん社会財団 （協力）西日本旅客鉄道株式会社 |
| テーマや内容 | あなたにとっての「いのち」 「いのち」の誕生の喜びや失った悲しみ、「生きる」ことの楽しさや辛さなど、さまざまな観点からの作品を募集します。 |
| 応募のきまり | <p>https://www.jrw-relief-f.or.jp/seminar/sakubun2023/ 詳細は、HP で確認して下さい。</p> <p>自分自身の想いや考えを原稿用紙にまとめてください。 原稿用紙には、題名、学校名、学年、組、名前（ふりがな）を明記してください。 枚数（400 字詰め）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学 1～4 年生 / 1～2 枚程度 ・ 小学 5～6 年生 / 1～3 枚程度 <p>※当財団から学校にお送りした原稿用紙をコピーしていただくか、当財団ホームページからダウンロードした用紙を用いてください。市販の原稿用紙（400 字詰め）でも可です。複数枚になる場合は、重ねて 2 つ折りにしてください。</p> <p>【テーマ例】</p> <p>○身近な体験を通じて感じたり、考えた「いのち」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 弟や妹が生まれた体験、自分や家族が病気になって入院した体験、大切な人を失った体験 ・ ペットを育てたり、草花を栽培した体験 ・ 家族や友だちとの日々の何げない会話などを通じて感じた生きることの楽しさ ・ 家族や友だちの支えによってところが救われた体験 など <p>○本やテレビ、インターネットなどを通じて感じたり、考えた「いのち」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いのちを守るために懸命に働いている人の姿 ・ 病気や大きな災害など困難とたたかいながらがんばっている人の姿 ・ SNS の書き込みで考えさせられたいのちの重み ・ 戦争・紛争や貧困など、困難な状況の中で生きている世界の人々の姿 など <p>○さまざまな形の「いのち」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海や山の景色、太陽や夜空の星など、自然とのふれあいで感じた「いのち」 ・ 人工知能やロボットなど、最新の科学技術の中に感じた「いのち」 など <p>作文を書くにあたってのヒント 見たり聞いたり調べたりしたことだけでなく、それに対し自分がどのように考えたのかを書いてみましょう。さらに、実際に行動したことがあれば必ず書いてみましょう。とり上げる内容については、メインとなるテーマやエピソードを決め、それについてくわしく書いてみましょう。あなたの「いのち」への想いがより強く表現できます。</p> |
| 作品返却の有無 | なし |
| 参加賞の有無 | あり |
| 校内締め切り | 8 月 2 5 日（金） |

| | |
|---------|--|
| No | 3 |
| コンクール名 | 心の輪を広げる体験作文 |
| 主催 | 内閣府，都道府県及び指定都市の共催 |
| テーマや内容 | 「出会い，ふれあい，心の輪－障害のある人とない人との心のふれあい体験を広げよう－」 |
| 応募のきまり | https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000313017.html 詳細は，HP で確認して下さい。 題名：自由 内 容：障害のある人とない人との心のふれあいの体験をつづったもの その他：応募作品は未発表のものを1人1編に限る。 制限字数等 小学生・中学生部門：400 字詰原稿用紙 2～4 枚 (B4 判又は A4 横向き/縦書) |
| 作品返却の有無 | なし |
| 参加賞の有無 | なし |
| 校内締め切り | 8月26日(金) |

| | |
|---------|---|
| No | 4 |
| コンクール名 | ゆうちょアイデア貯金箱コンクール |
| 主催 | 株式会社ゆうちょ銀行 |
| テーマや内容 | 子どもたちの造形的な創造力を伸ばすとともに，貯金に対する関心をもつ。 |
| 応募のきまり | https://www.idea-chokinbako.jp/ 詳細は，HP で確認して下さい。 ・立体作品は，大きさ縦・横・奥行が25cm以内 ・一人1点まで。学校代表者の応募で(学年1名)の学校内選抜あり |
| 作品返却の有無 | なし |
| 参加賞の有無 | あり |
| 校内締めきり | 9月2日(金) 学校応募数限定のため校内審査あり |

| No | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|---|-------|------|------|------|-----|------|-----|----|------|-----|-----|------|------|------|------|------|----|------|------|------|------|-------|------|
| コンクール名 | JA 共済京都府小・中学校書道コンクール | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主催 | 農業協同組合 全国共済農業協同組合連合会京都府本部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| テーマや内容 | 子どもたちの挑戦を支える。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 応募のきまり | <p>https://social.ja-kyosai.or.jp/contest/ 詳細は、HP で確認して下さい。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>区分</th> <th>条幅の部</th> <th>半紙の部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">小学生</td> <td>第1学年</td> <td>ゆかり</td> <td>うめ</td> </tr> <tr> <td>第2学年</td> <td>あおば</td> <td>つばめ</td> </tr> <tr> <td>第3学年</td> <td>花だより</td> <td>よろこび</td> </tr> <tr> <td>第4学年</td> <td>親しい友</td> <td>陽光</td> </tr> <tr> <td>第5学年</td> <td>芸術の秋</td> <td>広がる夢</td> </tr> <tr> <td>第6学年</td> <td>故郷の風景</td> <td>尊敬の念</td> </tr> </tbody> </table> <p>① 条幅の部 画仙紙半切（タテ約 136cm×ヨコ約 35cm）（左記サイズより長短 3 cm まで可） ※ 表装・裏打ち・押印等はしないでください。</p> <p>② 半紙の部 半紙（タテ約 33cm×ヨコ約 24cm）（左記サイズより長短 3 cm まで可） ※ 美濃紙等は使用しないでください。 ※ 表装・裏打ち・押印等はしないでください。</p> <p>③条幅・半紙ともに、学年 1 点のみ学校代表</p> <p>■書体 小学生は楷書、中学生は楷書または行書とします。</p> <p>■字体 小学校の学習指導要領の学年別漢字配当表に示す字体に準ずるものとします。 作品への学年・氏名の記入は次のとおりとします。 (学年) ……○年 (氏名) ……○○○○○</p> <p>小学校 1 年生および 2 年生 学年・氏名とも「漢数字」「漢字」「ひらがな（カタカナも可）」いずれでもかまいません。ただし、アラビア数字は使用しないでください。</p> <p>小学校 3 年生以上 学年は「漢数字」、氏名は原則「漢字」とします。 ※義務教育学校等の学年表記については学校の考え方に準じ、「七年、八年、九年」の記載を可能とします。</p> <p>なお、下記内容に該当する作品は、審査の対象になりません。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;"> <p>✕</p>  <p>小・中学校の別を記入したものの</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>✕</p>  <p>「組」まで記入したものの</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>✕</p>  <p>「生」まで記入したものの</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>✕</p>  <p>学年・氏名の順を誤って記入したものの</p> </div> </div> | | 区分 | 条幅の部 | 半紙の部 | 小学生 | 第1学年 | ゆかり | うめ | 第2学年 | あおば | つばめ | 第3学年 | 花だより | よろこび | 第4学年 | 親しい友 | 陽光 | 第5学年 | 芸術の秋 | 広がる夢 | 第6学年 | 故郷の風景 | 尊敬の念 |
| | 区分 | 条幅の部 | 半紙の部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小学生 | 第1学年 | ゆかり | うめ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 第2学年 | あおば | つばめ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 第3学年 | 花だより | よろこび | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 第4学年 | 親しい友 | 陽光 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 第5学年 | 芸術の秋 | 広がる夢 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 第6学年 | 故郷の風景 | 尊敬の念 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 作品返却の有無 | なし | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 参加賞の有無 | あり | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 校内締めきり | 8 月 2 5 日（金） 学校応募数限定のため校内審査あり | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|---------|---|
| No | 6 |
| コンクール名 | 第26回 京都サイエンスコンテスト |
| 主催 | 京都市教育委員会 |
| テーマや内容 | 物理（科学を含む）化学・生物・地学に関する理科学研究作品 |
| 応募のきまり | http://www.edu.city.kyoto.jp/science/recruit/ksc.html 詳細は、HP で確認して下さい。 |
| 作品返却の有無 | あり |
| 参加賞の有無 | あり |
| 応募締め切り | 8月25日（金） 学校応募数限定のため校内審査あり |